

## 平成27年度 施設実習報告

施設実習担当 初等教育科 中村廣光・杉野寿子  
保育科 飯田法子

平成27年度の施設実習は、児童養護施設・障害児施設をはじめとする保育所以外の各種児童福祉施設や知的障害者施設等42施設で実施した。

施設実習は、1年間にわたる事前実習指導と10日間の実習、半年間の事後指導によって構成されるが、短大で学んだすべての教科・活動がこれらの過程の中に総合的に活かされるよう教職員は細心の配慮をしている。

日常生活における言葉遣いや態度といった社会人としての基本となるマナー学習、各種書類や実習日誌、報告書の作成指導を通じて、わかりやすく正しい文書の書き方の学習、実習中の子どもや障害者の方への適切な支援の在り方の学習などを通して、多岐にわたる専門職としての知識・技能・態度を身につけることができるよう、指導・支援を行った。

\*

1. 実習先 大分県内 42施設  
初等教育科 143名 保育科 64名
2. 実習期間 初等教育科：1期 平成27年 8月17日～8月28日  
2期 平成27年 8月31日～9月11日  
保 育 科：1期 平成27年 3月2日～3月12日  
2期 平成27年 3月16日～3月27日

### 3. 実習の意義・目的

大学で学んでいることを具体的な現場体験を通して理解するとともに、身につけた専門知識や技術を実際の実習体験の中で総合化し、深め、応用力を身につけるとともに、現場で得た知識を持ち帰って研究することにより、自己の保育者・支援者としての意識や福祉観・人間観を養う。

### 4. 実習施設の様子

いずれの施設においても将来の有為な人材を養成する立場から、懇切丁寧に実習生の指導をしていただき、本学教員も各施設を巡回して実習生の状況把握や激励・指導を行った。学生も、施設職員や本学教員の指導・支援を受けながら着実に実習を行うことができた。

### 5. 施設実習を担当して

今年度は特別なトラブルや事故などなく、どの学生も貴重な現場体験をした旨の報告が提出された。実習開始時点でそれぞれが設定した実習課題も実習の中であるいは振り返りの授業等を通じて達成され、多くの実りがあった。